令和５年度

家庭教育学級ハンドブック

かてきょ～

北九州市市民文化スポーツ局

目　　次

１　はじめに
家庭教育とは 1
家庭教育学級とは 2
家庭教育学級への参加を通じて

２　家庭教育学級の進め方
学級開設から閉級までの主な手順 3
学級委員会 4
企画会議 5
開級式・学習会の進め方 6
閉級式

３　よくある質問 7

≪参考≫
①　学習方法 9
②　学習テーマ 12
③　プログラムの事例 13
④　講師への依頼等の文例 16
⑤　役割チェックシート 19
⑥　市立幼稚園・小・中・特別支援学校家庭教育学級開設要項 20

1　はじめに

家庭教育とは

家庭教育は、保護者が家庭生活を通して子どもに対して行う教育で、すべての教育の出発点です。子どもは家庭でのふれ合いを通じて、基本的な生活習慣、他人に対する思いやり、善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身につけていきます。

家庭教育 ＝ 家庭生活を通して子に行う教育

- 豊かな情操
- 基本的な生活習慣
- 生活能力
- 乳幼児期の親子のきずなの形成
- 他人に対する思いやり
- 善悪の判断
- 社会的マナー
- 自尊心や自立心

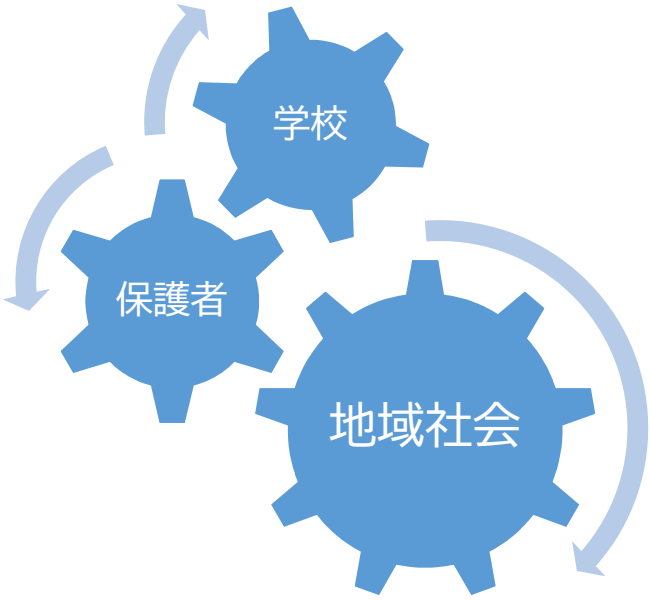
↓

「生きる力」の育成

家庭教育学級とは

保護者が家庭で子どもの教育をする心構えや、子どもへの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の共通の問題を、一定期間にわたって、計画的に、継続して、集団で学習する場です。

市民センターが主体となって、保護者、学校、地域社会の連携と協力を得て進めていく社会的な学びの場でもあります。



家庭教育学級への参加を通じて

同じ年頃の子どもを持つ保護者が集まることで、子育てに対して感じる戸惑いや悩みを抱え込まずに、お互いの経験や情報を交換するとともに、楽しく交流しながら学び合うことができます。

学習を通じて築いた「仲間」と共に、親睦を深めることや新たな「学び」を展開するきっかけになります。

２　家庭教育学級の進め方

家庭教育学級を開設するためには、およそ次のような手順が必要です。
じっくりと学習したいことを話し合い、しっかり計画を立てることができれば、学習会への参加意欲も高まり、学級活動を充実させることができます。

学級開設から閉級までの主な手順

家庭教育学級研修会（前期）

学級委員会・企画会議

開級式

学習会の実施

閉級式

家庭教育学級研修会（後期）

□ 家庭教育学級研修会（前期）
各区役所コミュニティ支援課が実施します。
家庭教育学級の意義・目的や開設手順までの全体の流れを学びます。

□ 学級委員会　・　企画会議
市民センターが委員会を招集、企画会議を開催します。
PTA、学校、その他関係者の協力のもと、企画会議で学習のテーマ・目標、学習内容と計画づくりを行います。
それに基づき、講師の選定、募集案内の作成など学習会の準備を学級委員会で進めていきます。

□ 開級式　～　学習会の実施　～　閉級式
講座、研修、実習などの学習会を行います。

□ 家庭教育学級研修会（後期）
家庭教育学級のまとめとして、各区役所コミュニティ支援課が実施します。

学級委員会

家庭教育学級に協力してくれるPTA、学校、その他の関係者で、学級委員会を構成し、市民センターと学級委員で企画運営を行います。

学習会を準備・運営し、終了後に学習会の振り返りを行いましょう。

学級委員が、一年間無理なく楽しく活動するために、市民センターと学級委員でしっかり話し合って、家庭教育学級の役割分担を決定しましょう。→19 ページ 「役割チェックシート」を参考にしてください。

※学級委員会の役割分担は‘広く・軽く’！

学級委員会の具体的な役割

参加者の募集と開級式の準備

① 学習計画に基づき講師に依頼する。

② 会場と参加募集人数、役割分担を決める。→（P１９参照）

※特定の人に負担をかけすぎないように

③ 参加者募集を行う。

※公開講座の場合は、地域に知らせる方法を考える。

案内チラシの配布や PTA 新聞、市民センターだより、

学校ホームページへの掲載等

④ 申込書を回収し、「参加者名簿」をつくる。

⑤ 託児や障害がある方へ対応が必要な場合は早めに準備する。

⑥ 必要な教具や教材などを準備する。

学習会のふりかえり

① 楽しかったこと、ためになったこと、感じたこと、考えたことを話し合う。

② 学習を進めていく上でどんなことに困ったかを話し合う。

③ 無理なく楽しく学習するにはどうしたらよいかを話し合う。

④ 学習会での学習内容をまとめ、市民センターだよりやＰＴＡ広報紙などで活動内容を紹介する。欠席者や不参加者にも報告する。

⑤ 次回だけでなく、学級として懸念事項がある場合は、そのことについても話し合う。

⑥ 次回の学習会についての確認を行う。

※アンケートを行うなどすると今後の学習会の内容をより深めることができます。

企画会議

家庭教育学級づくりの第一段階は、企画会議の設置です。企画会議では、学級を開設させるまでに必要な計画や準備を進めます。つまり、これから開設する家庭教育学級活動の土台づくりという、大変重要な意味を持っています。

企画会議の構成メンバー（例）

① 市民センターの館長・職員
② 今年度の学級委員
③ 前年度の学級委員
④ PTA 執行部メンバー
⑤ 保護者
⑥ 学校の代表
⑦ 地域における関係者
⑧ 生涯学習推進コーディネーター
⑨ 地域・人づくりアドバイザー（社会教育主事）
地域・人づくり担当補佐（社会教育主事補） など

STEP1 学習テーマ・目標の決定

① どんなことを学びたいか、意見を出し合いましょう。

② 意見を出し合ったら、内容を整理して、学習のテーマと目標を決めましょう。（P12 参照）

STEP2 学習内容の決定及び計画づくり

① 決まった学習のテーマに沿って、学習したい内容について意見を出し合いましょう。

② 学習したい内容が出揃ったら、内容を整理して、その中からいくつか選びます。

③ 次に学習計画（いつ、どこで、誰に）を、例えば、参加しやすいプログラム（P13～P15 参照）となるように話し合います。

※人権学習はおおむね2回以上取り組むよう努めましょう。

STEP3　学習方法の検討

① それぞれの「学習内容」に対し、適切な「学習の方法」を考えます。
（講義形式、実習形式、参加型学習など。P9～P11 参照）
② 学習内容に沿った講師や助言者を選びます。
③ 学習会を行う上で必要な「教具・教材」を考えます。

開級式・学習会の進め方

リラックスした雰囲気の中で、学習目標を参加者全体で共有できるように、分かりやすく説明しましょう。

また、参加者がお客さんになるのではなく、自主的・自発的な学習会になるよう方向づけると良いでしょう。

プログラムの例

≪開級式≫

9:30～9:50	受付
9:50	開会
9:50～10:00	北九州市子どもを育てる10か条唱和 開会のあいさつ（市民センター館長、PTA会長、学校長など）
10:00～10:10	家庭教育学級についての説明（市民センター館長など）
10:10	閉会

≪第1回　学習会≫

10:10～11:10	講演「○○○について」　講師　△△　△△氏
11:10～12:00	ワークショップ「○○○について地域の方と意見交換」

閉級式

年間活動を通して感じたこと、考えたことをフリートークなどによりふりかえりましょう。（よかったこと、苦労したこと、次年度に向けた提案など）

ふりかえりをしっかり行うことで一年間の学習成果がさらに高まります。

また、次年度の家庭教育学級をより充実させることにも役立ちます。

３　よくある質問

Q　学習内容は決まったけど、どんな講師を呼んだらいいの？

A　講師選びに役立つサイト

☆「まなびネットひまわり」 北九州市生涯学習情報提供
北九州市生涯学習人材バンクに登録された講師やボランティアを探すことができます。 http://kjbank.info/index.php

☆「出前講演」 北九州市
市職員等が地域に出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明を行うとともに、直接、市民や企業の方からの生の声を聞くため、出前講演を実施しています。
「安全・安心」、「子育て・教育」、「健康・医療・衛生」、「福祉・人権」、「まちづくり・市民活動」、「観光・文化・スポーツ」、「環境・みどり」、「経済・産業」、「都市計画・交通」、「住まい・上下水道」、「その他市政に関すること」、「区行政」、「NPO 等との連携事業」の全 13 分野 231 テーマと多岐にわたります。
https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/file_0446.html

Q　学級の運営、学習の進め方に困ったときには？

A　市民センターや各区役所コミュニティ支援課の地域・人づくりアドバイザー（社会教育主事）、 地域・人づくり担当補佐（社会教育主事補）に相談してみてください。
市民センターでは様々な学習ニーズに対応した市民講座を開催しています。
また、地域・人づくりアドバイザーは学びのオーガナイザー（まとめ役）として、培ったスキルがあります。家庭教育学級をより良いものにするお手伝いをします。

「学級運営」のコツ
- ○ LINE やメールなどを活用して時間的な負担を減らした。
- ○ 授業参観などの学校行事に合わせて、集まって話し合った。
- ○ 活動ごとにメインの担当を分けて、役割を分担した。

「学習プログラム」のコツ
- ○ 子どもと一緒に参加できるよう夏休みや冬休み、土曜日に開催した。
- ○ 3 校、4 校合同講演会を実施し、様々な保護者や地域の方と時間を共有した。
- ○ 市民センターが実施している生涯学習市民講座と合同で開催した。
- ○ 学校から年間行事予定を聞き、授業参観日やイベントに合わせて開催した。

Q より多くの人に学習会への参加を呼びかけるには？

A 学校と協力して参加を呼びかけます。例えば、学校のホームページに参加者募集のお知らせを掲載したり、案内チラシを作成して保護者に配布します。
また、 市民センターだよりに、日程・プログラムに加え、参加対象者、参加申込の方法などを掲載すると、より多くの保護者や地域の方に伝えることができます。

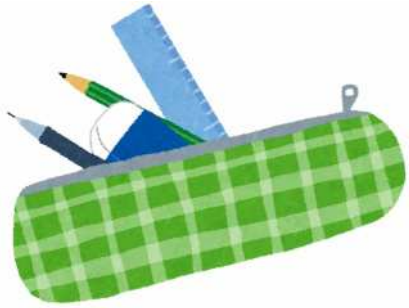
「参加者募集」 のコツ

- ○ 講座開設の都度、保護者全員を対象に募集をかけた。
- ○ 当日の参加者に次回の案内を行った。
- ○ 次の案内時に前回の内容や参加者の声を入れた。
- ○ 小さな子どもが来ても良いように見守り（子育てサポーターの活用）があることを PR した。
- ○ プリントでの案内だけではなく、口コミでも広めた。

Q 学級名にサブネーム（ニックネーム）をつけなければいけませんか？

A サブネームをつけると、企画に携わる皆さんが自分たちの学級に親しみが持てるようになったり、チラシを見た人が 『楽しそう！参加してみようかな』という気持ちになるかもしれません。
ぜひ楽しんで、あなたの学級に名前をつけてあげてください。
（サブネームは、前年度と同じでも新たに名前を付けることもできます。）

＜サブネームの例＞
「フレンズ学級」「わかくさ学級」「スマイル学級」「すまいる」
「ファミリースクール」「〇〇小スマイル」「〇〇小のびのび塾」
「かるがもクラブ」「杉の子学級」「家庭教育学級Moon」
「かたつむり学級」など



≪ 参　考 ≫

①　学習方法

学習計画を立てるとき、「学習の内容」を決めることはもちろん大切ですが、その学習を生かすために、どのような学習方法にするかということも重要になります。学習方法により、参加者の学習意欲は大きく左右されます。

ここでは、いくつかの学習方法を紹介しますので、学習内容にふさわしく、参加者が楽しく学ぶことができるように学習方法を選ぶ参考にしてください。

講義・講演形式の学習

特徴　知識を増やす上で優れていますが、講師から参加者への一方的な話になりやすいので、学習のねらいを明確にするとともに意見交換なども組み入れ、双方向のコミュニケーションがとれるよう工夫が必要です。

参考となる講演会

家庭教育講演会（北九州市教育委員会･北九州市 PTA 協議会主催）

小･中学校等の保護者が関心のあるテーマについて、全市的な講演会を実施し、より多くの保護者に家庭教育の重要性を学ぶ機会を提供する。

令和４年度開催実績
「ひまわり先生のこころの子育て実践法」心理カウンセラー　米倉　けいこ
令和４年７月 30 日（土）黒崎ひびしんホール

視聴覚利用の学習

特徴　映画や VTR などを視聴することで、学習テーマに問題が実感できるとともに、参加者の関心を引きつけます。視聴しただけで終わらないように、助言者や講師の話を聞いたり、テーマについて意見交換をしたりするなど、工夫が必要です。

実習・見学の学習

特徴　この学習は、レクリエーションや軽スポーツ・調理などの実習や施設見学を行うので参加者同士がうちとけたり、仲間づくりを進める上でも効果的です。
実技や趣味的な内容のみを行うだけではなく、学習のねらいをしっかり定めて実施しましょう。

家庭教育学級だよりの発行

特徴　家庭教育に関する情報を紙（またはオンライン）で発信します。集合形式またはオンライン形式という学習方法を取ることが難しい場合でも、情報発信することでより多くの保護者へ届きます。

参加型学習　（ワークショップ、ワールドカフェ）

ワークショップとは？

「ワークショップ」という用語は、心理療法、演劇、美術、まちづくり、開発教育、環境教育など幅広い分野で使われていますが、社会教育の場におけるワークショップとは、「全ての参加者が学習の場に積極的に参加し、相互に学び合う過程を通じて様々な気づきや発見をする<参加体験型>の学習方法である」と定義されます。

ワールドカフェとは？

「ワールドカフェ」は、1995 年にアメリカで開発されてから世界中に広まり、日本でもビジネス・行政・医療・教育・まちづくりなど、様々な分野で創造的なミーティング手法として活用されています。4～5 人程度の話しやすい人数に分かれて座り、カフェのようなリラックスした場で、楽しく本音を語り、新しい気づきやアイデアを生み出す話し合いの手法です。

特徴　参加者をグループに分け自由に話し合うことによって、様々な意見が集まり、思わぬ発想につながることがあります。

オンライン学習

特徴　集合とオンラインのハイブリット形式や、YouTube の限定配信等で学習します。この方法は、日時にとらわれず学習できるので、より多くの保護者の参加が望めます。

参考となる学習コンテンツ

キタキュー親力アップ漫画（北九州市生涯学習課制作）

子育てに多い悩みをテーマに幼児・小学生・中学生の子どもを持つ家族の話をウェブ漫画で配信中。（1 話あたり 3 分程度の内容です）

「漫画の街北九州 発信！　キタキュー親力アップ漫画配信中！！」

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/03400221.html

②　学習テーマ

1	子どもの心理的・身体的発達
2	基本的生活習慣の形成
3	家族の人間関係
4	親の態度・役割
5	子どもの安全・安心に関すること
6	非行や問題行動
7	子どもの性について
8	勉強や友人関係
9	将来の進路
10	学校や地域との連携と交流
11	国際化と家庭教育
12	情報化と家庭教育
13	環境問題について
14	人権について
15	地域文化の振興（シビックプライドの醸成）

③　プログラムの事例

(1)好評だったプログラム

学習テーマ （内容）	子育て情報交換会 子育てについてワールドカフェ方式で情報交換をして交流を図った。
講師・助言者	ファシリテーター　市民センター館長
学習方法	話し合い
良かった点	ワールドカフェをしたことで、一気に交流ができ、お互いの悩みや意見交換がスムーズに行われた。

学習テーマ （内容）	家庭の問題、地域の課題を解決するヒントを探る 地域の子どもをとりまく課題について、グループごとに具体的にあげて（子どもの遊び場所・ゲーム依存などについてなど）その課題を他のグループにより解決策を考えてもらう。
講師・助言者	NPO法人　代表者
学習方法	ワークショップ形式
良かった点	自分の出した地域の子どもについての課題や問題を、他者が考えることで、自分自身では思いつかなかった考えを知ることが出来た。 青少年問題懇談会、小学校・中学校家庭教育学級合同開催により地域住民、PTA・保護者、学校との交流が図れた。 YouTube で開催の様子を配信し、当日参加出来なかった方にも観てもらえた。

学習テーマ （内容）	「サンタさんっているの？」にどう答える
講師・助言者	ファシリテーター　NPO 法人好きっちゃ北九州
学習方法	話し合い
良かった点	第 1 回に子育てについて「学びの種の見つけ方」シートを見ながら話し合い、参加者から出たテーマを第 4 回で話し合った。どこでもありそうなテーマを、親としてどう答えるか考えることができた。委員会活動が厳しい中、第 1 回の家庭教育学級で、保護者の学びたいことを決めていくことで、企画会議の負担軽減につながり、ニーズにあった学びができる。

学習テーマ （内容）	高校施設見学
講師・助言者	高校担当者
学習方法	校外研修
良かった点	コロナ禍でも人数や内容を工夫して高校施設見学を実施。保護者同士の情報交換や悩み相談の場をつくり、子どもの進路選択の参考にすることができた。

（2）親子参加をプログラムにした事例

学習テーマ （内容）	体験・学びを通して明るい家庭生活を築こう 活動を通して幼稚園の保護者間・幼稚園教員と保護者間の親睦を深め、体験したり学んだりしたことを家庭生活に活かし、親子の絆を深めることができるようにする
講師・助言者	園長、実技指導者
学習方法	実技・講話
良かった点	アンケートを取り、幼稚園の保護者が学びたいことを企画することができた。その為、皆のやる気が伝わりやすいのと、協力もしていただき運営しやすかった。また、内容を深く考えられ、参加率アップにもつながった。 継続して参加する保護者が多く、お迎えの時間が違う普段会わない方とも交流を持つことができた。

（3）近くの学校と合同開催したプログラム例

学習テーマ （内容）	難病がくれた宝物～僕は今が一番幸せです～ 夢をもつことの大切さやどんな状況にあっても幸せに生きるためのヒントを学ぶ
講師・助言者	（株）PLS
学習方法	講演
良かった点	小規模校のため小学校２校、中学校１校で全てのプログラムを合同開催している。３校の校長先生も開級式・閉級式に出席していただき学校の様子を聞くことができ、保護者同士の交流や情報交換の場になっている。日程を夏休みにしたことで子ども達も参加することができ良かった。

（4）区や市民センターが主催する講座をプログラムにした事例

学習テーマ （内容）	小倉南区家庭教育講演会（区主催） 子どもの気持ちが“わかる”親になる～ついつい腹が立ってしまうあなたへ～
講師・助言者	教育文化研究所
学習方法	LIVE 配信後、1 週間の期間限定配信
良かった点	期間限定配信の実施により、個々の実情に合わせた学習場所、学習時間がとれ保護者に好評であった。学校の協力のもとチラシを全生徒に配布することで、家庭教育への理解の裾野を広げることができた。

（5）オンライン講座のプログラム事例

学習テーマ （内容）	教頭先生の講話 これまでの教員経験から学んだこと～子ども達に返していきたいもの～
講師・助言者	中学校教頭
学習方法	対面と限定配信
良かった点	対面に加え Youtube 配信をして多くの保護者に観てもらう機会を設けることができた。

（6）書面配布の事例

学習テーマ （内容）	子どもからの SOS を聞き逃さないために
講師・助言者	北九州少年サポートセンター少年育成指導官
学習方法	書面配布
良かった点	担当委員会がないため Google フォームでアンケートを取り学びたい内容の意見を調査した。コロナ禍で集まりにくい環境にあるため、書面配布を行なった。ここ数年家庭教育学級の認知度が落ちていたため、少しは家庭教育学級の認知度の回復につなげられたと思う。

④　講師への依頼等の文例

※例示ですので、必ずしも同じように書く必要はありません。
ただし、下記の暴力団排除のための事務処理方針については、必ず明記してください。

令和　年　月　日

○○　○○　様

○○市民センター　館長　○○　○○
◇◇学校家庭教育学級　学級長　○○　○○

[◇◇小・中・特別支援]学校家庭教育学級の講師について(依頼)

○○の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、当学級では[○○市民センターまたは◇◇学校]において、[◇◇小・中・特別支援]学校家庭教育学級を開催しておりますが、その中で下記のとおり[「・・・・・・・・・・・・」]についての講師をお願いしたいと思いますので、ご多忙中まことに恐れ入りますが、ご承諾いただきますようお願い申し上げます。

記

1 日 時　　令和　年　月　日(　曜日)　○○時から○○時まで
　(先生の登壇は、○○時からですが、○○時までにお越し頂ければ幸いです。)
2 会 場　　○○市民センター　○階　○○会議室
　　(○○区○町　○番○号　TEL000-0000)
3 対象者　[◇◇]家庭教育参加者(約30名)
4 テーマ　　○○○○について
5 連絡先　[担当者の氏名・電話番号を記載]
6 その他
(1)　講演で使用するレジュメ等がございましたら、一部ご送付ください。
(2)　会場で使用する機材等がありましたら、あらかじめお知らせください。
(3)　朱肉用の印鑑をご持参ください。[謝金の支払いで必要な場合]
(4)　マイナンバー制度に関する本人確認書類提出のお願い及び振込み口座届出書兼宣誓書を同封いたしますので、必要箇所をご記入の上、講座当日にお持ちください。[謝金の支払いで必要な場合]

【北九州市の事務事業から暴力団を排除するための事務処理方針について】
本市では、市政からの暴力団排除を徹底することを目的として、市が行う全ての事務事業について、講師や助言者が「①暴力団・②暴力団員・③いずれかと密接な関係を有する者」の全てに該当しないこととされ、該当が判明した場合は、依頼を取り消さなければなりません。つきましては、文書での確認にご協力をお願いいたします。

《参考》
講師派遣依頼の文例

※例示ですので、必ずしも同じように書く必要はありません。

令和　年　月　日

［講師・助言者をお願いした方の所属する所属長（部課長等）宛て］
（例）〇〇区〇〇〇課長　〇〇　〇〇　様
　　〇〇〇小学校長　〇〇　〇〇　様

〇〇市民センター　館長　〇〇　〇〇
◇◇学校家庭教育学級　学級長　〇〇　〇〇

［◇◇小・中・特別支援］学校家庭教育学級の講師派遣について（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、当学級では［〇〇市民センターまたは◇◇学校］において、［◇◇小・中・特別支援］学校家庭教育学級を開催しております。その中で［「・・・・・・・」］についてのご指導を貴所属の［◆◆◆◆］様にお願いいたしたく、ご多忙中とは存じますがご派遣方お取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

1　日　時　　令和　　年　月　　日（　曜日）〇〇時から〇〇時まで
2　会　場　　〇〇市民センター　〇階　〇〇会議室
　　（〇〇区〇町〇番〇号　℡000-0000）
3　対象者　［◇◇］家庭教育参加者（約30名）
4　テーマ　　〇〇〇〇について
5　連絡先　［担当者の氏名・電話番号を記載］

《参考》
講師への礼状の文例

※例示ですので、必ずしも同じように書く必要はありません。

〇〇　〇〇　様

拝啓　このたびは、[◇◇小・中・特別支援]学校家庭教育学級におきまして、有意義なご指導をいただき、誠にありがとうございました。

おかげをもちまして、家庭教育学級の参加者にとって有意義な研修会となり、多大な成果を収めることができました。心から御礼を申し上げます。

これからも何かとご助言、ご指導をいただきたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、先生のご健康と今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

令和　　年　　月　　日

〇〇市民センター　館長　〇〇　〇〇
◇◇学校家庭教育学級　学級長　〇〇　〇〇

⑤　役割チェックシート

学習会の開催準備から終了まで、主な役割の担当チェックシートです。それぞれの状況に応じて、無理のない方法で進めましょう。

No.	役　割	学級委員	市民センター
①	市民センターは、学級委員の協力を得ながら学級委員会を開催し、学習会の準備と当日の運営を行います。		
②	企画会議で立てられた学習計画に基づき具体的に学習会の準備を行います。		
	・予算の使い方の決定（予算計画）や講師の選定を行います。		
	・学習資料、講師への依頼文（例：P16・P17）を作成します。		
	・参加者の募集を行います。		
	・参加者名簿・出席簿・学級日誌等を作成し保管します。		
	・講師・助言者と当日の進め方に関する調整を行い、会場の準備を行います。		
	・講師謝礼金（振込み等）の準備をします。		
③	学習会を開催します。		
④	学習会の記録をとり、終了後は反省と評価を行います。		
⑤	お礼状（例：P18）を送付します。		

⑥　市立幼稚園・小・中・特別支援学校家庭教育学級開設要項

１　目　　的

　すべての教育の出発点であり、子どもの健全な成長、人格の形成にとって重要な意義をもつ家庭教育について、市民センターとＰＴＡ、学校、その他関係者（まちづくり協議会、自治会、放課後児童クラブ等）が連携の上、保護者や地域の方々等に学ぶ機会を設けることにより、家庭及び地域の教育力の向上を図るもの。

２　主　　催　　市民センター

３　協　　力　　ＰＴＡ、学校、その他関係者（まちづくり協議会、自治会、放課後児童クラブ等）

４　開設場所　　市民センター又は市立幼稚園、小・中・特別支援学校など

５　対　　象　　市立幼稚園、小・中・特別支援学校の幼児・児童・生徒の保護者等

６　開設期間　　４月～翌年３月

７　学習内容　　子どもの発達や基本的生活習慣、人権学習など別表に沿ったもの

８　開催回数　　講座、研修、実習等の「学習会」の開催回数は年間４回程度
（家庭教育講演会を開催回数に含めることができる）
（人権学習は年間２回以上取り組むよう努める）

９　開設方法

（１）　市民センターは、ＰＴＡ、学校、その他関係者の協力のもと、家庭教育学級（以下、「学級」という）を開設させるまでに必要な計画・準備を行う「企画会議」を開催し、学級開設までの必要な条件づくりを進める。

（２）　市民センターは、学級の運営に協力してもらうため、ＰＴＡ、学校、その他関係者で「学級委員」を構成する。

（３）　市民センターと「学級委員」は、「学習会」の準備・運営上、必要に応じて学級委員会を開催する。

（４）　市民センターと「学級委員」が十分協議し、「学級委員」の状況に応じた役割分担を行った上で、計画的な学級運営を進める。

１０　運営上の留意点

（１）　運営上、「企画会議」や「学習会」等を他校と合同で開催することが望ましい場合は、合同で開催することができる。

（２）　参加者の募集に当たっては、「学級生方式（継続参加）」もしくは「毎回募集方式」いずれも選択できることとする。

（３）　保護者だけでなく、地域の方々にも参加を呼びかけ、「教育力のある」地域づくりに努める。

（４）　開設日時は、働く保護者等も参加しやすいように、休日や夜間に開設するなど弾力的に対応する。

（５）　託児や手話通訳等が必要な場合は、その要望に応えられるように配慮する。

１１　その他　　この要項は、平成２６年４月１日から適用する。
この要項は、平成２９年４月１日から適用する。
この要項は、令和元年５月１日から適用する。
この要項は、令和３年５月１日から適用する。

別 表

学習テーマ

1	子どもの心理的・身体的発達
2	基本的生活習慣の形成
3	家族の人間関係
4	親の態度・役割
5	子どもの安全・安心に関すること
6	非行や問題行動
7	子どもの性について
8	勉強や友人関係
9	将来の進路
10	学校や地域との連携と交流
11	国際化と家庭教育
12	情報化と家庭教育
13	環境問題について
14	人権について
15	地域文化の振興（シビックプライドの醸成）

北九州市子どもを育てる10か条

～子育て・親育ちのためのルール～

朝は明るく
笑顔で「おはよう」

家族にも
「ありがとう」と
「ごめんなさい」

子育ては
褒める 叱る
見守る 抱きしめる

聞く時は
子どもの目を見て
心を聞いて

食事が楽しみな
家庭にしよう

大切にしたい
物より体験

まず親が
きちんと実行
社会のルール

声かけて
地域の宝
子供どもたち

教えよう
平和といのちと
助け合い

子どもと
夢を語り合おう

北九州市教育委員会

生涯学習課では、家庭教育の大切さを考えるきっかけとなるようなウェブ漫画「キタキュー親力アップ漫画」を配信しています。

また、漫画にあわせて、子ども家庭局・教育委員会の子育て支援に関する情報も紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。

インターネット等で「キタキュー親力」で検索していただくか、掲載のQRコードからも見ることができます。

Check!!

北九州市市民文化スポーツ局生涯学習課

〒803－8501
北九州市小倉北区城内1番1号
TEL 093－582－2385

北九州市印刷物登録番号 第2310010A号